



3000日(8年)後に発見!

\_\_西日本防災システム

2019 06 01

東日本大震災の津波で、宮城・石巻市から流された船が、高知県の須崎沖で発見されました

NBS 119

5月27日高知県警の警備艇がパトロール中にこの船を発見したようです。「海難事故かもしれない」と、連絡を受けた高知海上保安部が漁船登録番号を確認すると、それはなんと!.....

この船は、東日本大震災の津波で、宮城・石巻市から流された漁船**日進丸**でした。この8年で日本近海を1周したのか、2周3周している可能性もあるとのこと。

**日進丸**の持ち主の50歳の男性は、震災で自宅は流されましたが、今も漁業に携わっているそうです。高知で発見された船を見た男性は、「ごくろうさまですね。ありがとう日進丸ですね」と話したそうです。

震災から8年以上。漂流期間、実に3,000日目の長旅でした。

よくわかったわ!



西日本防災システム

NIISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 